

6月から 感染予防対策を実施し 小・中学校を再開しました

☎ 学校教育課 TEL (36) 5531・FAX (32) 3352

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月から市立小・中学校を一斉休校し、約3カ月。市では、6月1日から学校が再開し、教室には子どもたちの笑顔が戻ってきました。同ウイルスへの警戒が続く中、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう引き続き感染予防対策に努めてまいりますので、皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い致します。



授業では、先生の問いかけに笑顔で手を挙げて答える子どもたちの姿も。



1. 登下校はマスクの着用をお願いしています(熱中症予防では必ずしもありません)。2. 教室では座席の間隔を最大限に広げ、密接する状況を回避しています。また、窓を開けてこまめに換気をしています。3. 給食は授業時と同じ座席の間隔を保ち、できるだけ話をせず前を向いて食べています。4. 校内では消毒液やせっけんを置き、手洗い、うがい、せきエチケットの徹底に努めています。5と6. 図書室や手洗い場、トイレなど児童が集まりやすい場所では、いすに座る時や並ぶ時に間隔を空けて距離が保てるよう貼り紙をしたり、テープを床に貼ったりして示しています。7. ドアノブや階段の手すり、トイレのレバーなど児童がよく触れる箇所を消毒しています。

さまざまな感染防止対策を実施しています

学校再開時の感染防止対策として、マスクや消毒液、非接触型体温計などを各校へ配布しています。また、「3密」を避ける対策は、各校の生徒数や空教室の数、教員数などの実情に応じて実施しています。例えば、教室の壁を移動させてスペースを広げたり、教室内の棚などの付属物を教室から出したり、児童生徒の机の間隔を最大限に広げたりして密接する状況をなくすことに努めています。また、空き教室や体育館・格技場を利用してクラスを分け、密集の回避にも努めています。なお、登校時には、毎朝の家庭での検温や健康観察の状況を記録した健康観察カードの提出をお願いし、子どもたちの健康管理にも努めています。

授業での配慮

音楽・体育などの飛沫感染の可能性が高い一部の実技の授業では、指導の順序を変更するなど、当面の間実施を見合わせます。水泳実習は、更衣室での「3密」が回避できないと判断し、今年度は中止します。また、低学年の授業では、可能な限り担任以外の教員や支援員を配置して、複数人での支援を行っています。

今後の状況の変化に応じて、学校での感染予防対策や教育活動などに変更がある場合があります。最新の情報は市ホームページや近江八幡 Town-Mail などでお知らせします。



取材協力/八幡小学校

インタビュー 休校中のこと、再開した学校生活のことをお聞きしました



八幡小学校6年

鶴田愛奈さん

日當洋輔さん

お互いを気づかいながら、楽しく過ごしています。

2人とも休校の間は、午前中に宿題などの勉強を済ませ、午後からは家族とトランプなどのゲームをしたり、テレビを見たりして家で過ごしたり、たまに外に出て運動をしたりして過ごしていたといいます。

鶴田さんは「新型コロナウイルスの感染が広がり、休校は仕方ないなと思いましたが、早く学校が再開して友だちに会いたいと思いつながりながら毎日を送っていました。学校が再開してからは、休み時間に友だちと遊ぶときに近づきすぎたりすると、少し気を遣うこともあります」と話し、日當さんは「やっと友だちと会うことができうれしい、楽しく毎日を送っています」と話していました。



身体的距離を感覚的に理解できるように、2メートルのコーンバーを廊下の掲示板に設置している学校もあります。